

平成 27 年度 第 3 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録 (要約)

開催日時：平成 27 年 8 月 6 日 (木) 18 時 10 分～21 時 00 分

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室

出席理事：本白水博、平岩康之、弘部重信、柴田健治、川崎浩子、宇於崎孝、吉田環、
酒井英志、町本高章、石井隆 **出席監事**：前川昭次 **現在理事数**：11 名

監事数：2 名 **議長**：本白水 博

○報告事項

第 2 回予定は 8 月 29 日 (土)

各部・各委員会報告

総務部・事務局 (平岩副会長)

- (1) 会員数 873 名 134 施設 (8/6 現在)
- (2) 40 周年会計業務

広報部 会員増加に伴いニュース増刷予定

厚生部 (石井理事)

- (1) フットサル開催 11 月 1 日 (日) 予定

研修部 (宇於崎理事)

- (1) 第 3 回研修会 9 月 6 日 (日) ひこね燦パレス
- (2) 第 4 回研修会 11 月 29 日 (日) 場所未定
- (3) 2016 年度研修については 8 月中に研修部長と協議予定

生涯学習管理部・生涯学習部 (川崎理事)

- (1) 8 月 23 日第 2 回新人研修会ピアザ淡海
ブロック化を見据えて夜間開催を検討。甲
西リハビリ病院が協力を快諾。
- (2) 認定・専門理学療法士のポイント取得制度に
ついて 不明な点の問い合わせ先について
確認があった。→現時点では、直接、協会
本部へ尋ねることを申し合わせた。

診療報酬部 (柴田理事)

- (1) 10 月 25 日 (日) 診療報酬情報交換会 野洲
病院 詳細は案内参照

保健福祉部 (松岡副会長文書)

- (1) 作業所スタッフ向け研修会 2015 年 6 月 27 日 (土)
作業所スタッフ 8 名 理学療法士 15 名

公益事業部 (酒井理事)

- (1) 理学療法週間イベント

『介護予防推進キャンペーン 2015 (全国統一開催)』平成 27 年 7 月 12 日 (日) 明日都
浜大津 参加者 一般 9 名 理学療法士 8 名
IPTA NEWS 296 号掲載予定
参加者感想：良い経験であった。もっと情
報を流して欲しかった。

- (2) おおつ健康フェスティバル 2015 (※)

日時：2015 年 10 月 18 日 (日) 10 時～15 時
場所：明日都浜大津

- (3) 第 5 回おうみしごと体験フェスタ (※)

日時：2015 年 10 月 17 日 (土)・18 日 (日)
10:00～16:00 両日だが、当会は 17 日のみ
参加。

場所：テクノカレッジ滋賀

(※) ボランティアは新プロポイントの対象

各会議報告

公衆衛生学会 (柴田理事)

- (1) 運営のために構成団体へボランティア派遣
が要請されることとなった。→当会におい
て派遣者には旅費規程を適応することが確
認された。

近畿ブロック会議 (本白水会長)

- (1) 近畿学会は今年度兵庫士会から 2 日間開催
となる。最近の傾向として、会員は増加し
ているが、参加者が横ばいである。
- (2) 経費増への対策として、負担金 500 円 /1 会
員を 750 円 /1 会員に増額する案が一部士会

で承認されていない状況や次年度（和歌山県）以降の費用負担については年明けに議論すること。また、今年はDVDを配布せず、別の形で抄録等の公開方法を検討していることが報告された。

滋賀県リハビリテーション協議会（本白水会長）

- (1) リハビリテーション専門職の養成・確保に係る検討部会（3士会含む）：PT/OT/STの将来需要が約3千人と予測されているが、現在1200名である。大学化推進の合意事項が報告された。

情報提供

- (1) 地域医療福祉基金事業が国の予算削減により、当会でも102万円から58万円に減額された。
- (2) 7月「医療介護総合確保促進法に基づく滋賀県計画」冊子配布と説明があった。

○審議事項

第1号議案 提出：石井理事

議案内容：士会ニュースの配布方法について

審議内容・結果：①施設での配布簡素化 ②士会HPでのPDF保存により検索の容易化 ③紙の省資源化を趣旨とする配布数の削減について会員コメントを募ったところ広報部と会員より意見があった。①ペーパーレスにしてHP上のみ公開とする ②印刷業者の対応 ③目的がはっきりしない ④将来はメール配信を。等の意見があり、検討した結果、現時点では会員サービスとして必要と考えるので、現状の配布方法を維持することが決定された。

第2号議案 提出：石井理事

議案内容：士会ニュースの保存について

審議内容・結果：この数年はPDFで保存されているが、初代会長より士会ニュース第1号より初期の貴重な資料寄贈の申し出があった。検討した結果、将来の記念誌作成目的を含め資料の散逸防止、保存方法の簡素化のために、寄贈された資料のPDF保存が適当と判断された。

PDF化するための機材の借用依頼、アルバイトの手配とその経費計上が了承された。

第3号議案 提出：本白水会長

議案内容：地域包括ケアシステム事業における3士会協議会について

審議内容・結果：①3士会の合同窓口はどうするか ②各士会の窓口はどうするか ③圏域ブロックの窓口はどうするか ④派遣するための人材バンクの企画運用、以上について検討を継続することが了承された。

第4号議案 提出：石井理事

議案内容：①40周年記念式典のカメラマンについて ②記念講演の画像公開と保存について

審議内容・結果：①ホテルへ依頼すると8万円計上する必要がある。検討し経費節減のため、撮影に詳しい士会員へ依頼し、了承が得られなければホテルへ依頼する。②記念講演のデジタル画像はクラウドで保存されている。今後の公開方法と公開範囲を個人情報保護という観点からも検討することを40周年記念誌担当より提起される。40周年に限定されるだけでなく、士会活動全般にわたって、資料、特に画像の保存が必要である。拡大理事会での各部の事業報告(画像関連)をクラウドへ登録するように進めて行く事が承認された。

第5号議案 提出：本白水会長

議案内容：倫理委員の選出について

審議内容・結果：協会本部の研修会参加、研修会講師等において、実務を担う倫理委員が本土会でも必要であったが、前任者より交代選出されていなかった。新たに、本人承諾の上、吉田理事を選出することが承認された。

第6号議案 提出：川崎理事

議案内容：プロジェクター等士会備品の借用について

審議内容・結果：地域包括ケア事業推進のための滋賀県士会各圏域ブロックでの研修会活動が活発化している。それにともない、プロジェクターやパソコン等の借用が頻繁になっている。検討

の結果、士会員所属の事業所に借用依頼をする前に、士会備品の使用を優先し、1台(研修部保管)しかないプロジェクターは会場備付のものを借用するようにするか、レンタル業者へ依頼する。また、パソコンは準備が整い次第、各圏域に1台ずつ配布予定であるので、配布までは士会内のパソコンを効率的に運用する。以上、承認された。

第7号議案 提出: 宇於崎理事

議案内容: 滋賀国体を成功させるための士会組織内での担当部署設置について

審議内容・結果: 前回の理事会で、滋賀国体のメディカル部門を支援するための担当部署を士会内に設置することが決定された。正式に「滋賀国体支援委員会」として発足し、委員会メンバーを士会員から募集することが承認された。

平成 28 年度組織改定について

副会長 平岩 康之

地域包括ケア時代を迎え、我々理学療法士の役割はますます重要になるものと思われます。しかしながら、その社会的要求を満たすことは、滋賀県の理学療法士が一丸となって活動できる強力な組織づくりが必要です。そこで検討した結果、図のような組織体系で推進することが理事会で決まりましたので会員の皆様に説明させていただきます。組織改定は以下の3点について重点的に行うことにしました。

1. 専門分野の教育、学術活動の振興
2. 新人、ベテランを問わず誰もが参加できる士会活動
3. 顔の見える関係づくり

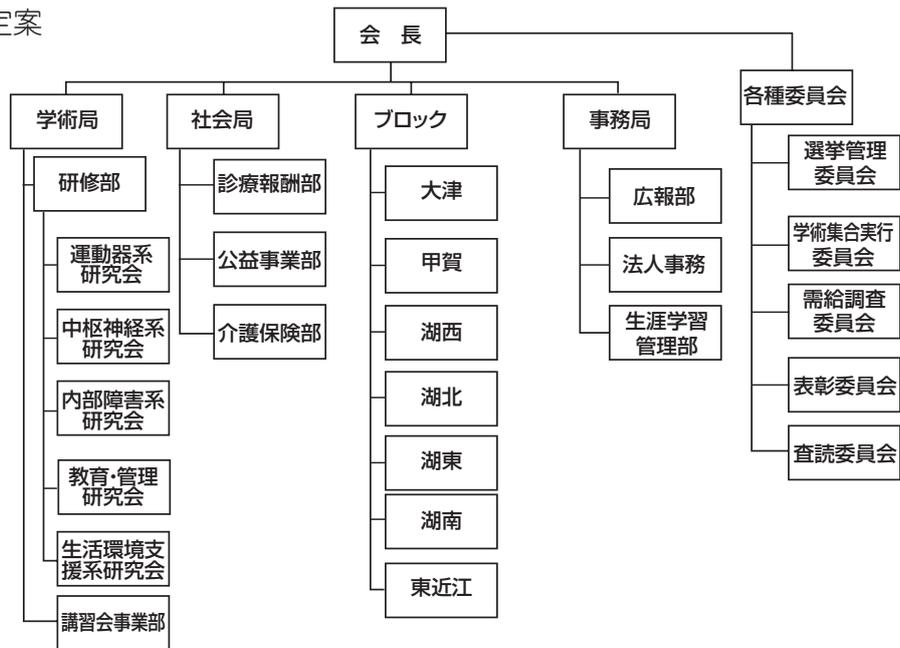
ご承知の通り、日本理学療法士協会(以下日理協)では、専門、認定理学療法士制度や専門領域学会の推進をしております。士会の学術活動も日理協とリンクして進めていかなければなりません。また、専門・認定理学療法士の活躍の場や認定ポイントをとれる機会を増やしていく必要があると考えています。そこで、これまでの各部の研修体制から、専門分野ごとの研究会による自主的な研修会の企画を中心とした研修体制を構築することにしました。研究会は既存の研究会や新規の研究会を公募して士会組織に取り込む形にしたいと考えています。各研究会への参加は会員(非会員は条件付きで参加可)であれば自由に参加できるようにし、また、勉強会や症例検討なども研究会で企画していただくように考えています。また、将来的には専門、認定理学療法士がリーダーシップをとれる体制にしたいと思います。

次に、ブロック化を現在の地域包括ケア中心の体制からより発展した形で進めていきたいと考えています。新人教育や公益活動など地域ごとに行えるような体制、地域で若手理学療法士を育てていく体制を構築したいと考えています。

平成28年度は移行期間とし、現行の部門からスライドして各研究会へ移行いたします。活動内容はすぐには変わらないかもしれませんが、数年かけて上記の3点が実現できる体制にしていきたいと思っております。

当士会は県内の医療関係団体の中ではまだ大きい方ですが、他府県から見るとまだまだ小さな団体です。財務的にも決して裕福な状態ではありません。会員の皆様一人ひとりの力を合わせて、強固なものにしていただきたいと思います。何卒、この趣旨をご理解いただき士会活動への積極的な参加をお願いいたたく存じます。

図 組織改定案



理学療法週間全国一斉介護予防推進キャンペーン

『今から始める介護予防 ～ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を予防しよう！～』をテーマに大津市の明日都浜大津にて公開講座を開催しました。当士会の大津圏域介護予防推進リーダーである西山直樹氏から「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは何か?」「ロコモティブシンドロームの予防法」などが実技を交えて説明され、また「ロコモチェック」では、現在のご自身の健康状況を確認して頂きました。日頃から注意して予防を心がけて頂く良い機会になったと思われました。

参加者からは「このような講座を定期的で開催して欲しい」、「イベント情報をどのように知ったらよいのか?」などの声をお聞きしました。当士会としても広報活動を再考するとともに、地域単位で少しずつこのようなイベントを通して介護予防の輪が広がっていくように今後も活動して参ります。

公益財団法人近江兄弟社ヴォーリス記念病院 酒井 英志

